

平成24年8月10日

生和コーポレーション株式会社  
代表取締役 黒田 順一 様

日暮里富士見坂を守る会 代表/金子 誠

文京区千駄木3丁目に建設される  
■■■■■■■■■■ マンションの計画変更へのお願い

拝啓 貴社におかれましては、ますますご盛栄のことと拝察いたしております。

この度、貴社が設計・施工される文京区千駄木3丁目の■■■■■■■■■■ マンションは、この東京に残る数少ない富士山の重要な眺望ポイントからの眺めを大きく阻害することになります。つきましては、眺望が保全される計画への変更をお願いしたく、ぶしつけではありますがお手紙を差し上げます。

わたくしども日暮里富士見坂を守る会は、2000年に近隣有志の呼びかけに応えるかたちで生まれた、市民による任意団体です。東京荒川区にある日暮里富士見坂は、都心で唯一、地面に立ったまま富士山を望むことのできる「富士見坂」であり、この歴史的な「風景遺産」を継承しようという活動をおこなっております。

この日暮里富士見坂からの富士山への眺望は、2005年に国土交通省より「関東富士見100景」の一つ、「東京富士見坂」として選定されました。

また、ユネスコの世界遺産条約の諮問機関であるイコモスの第17回総会（2011年12月にはフランス・パリのユネスコ本部で開催）においては、日暮里富士見坂からの眺望は、歴史的都市風景とそこにある眺望遺産として重要であるとし、議事の一つとなりました。その結果、眺望保全のためのガイドラインづくりに、日本イコモス国内委員会および関連の国際学術委員会の協力が得られることも決まり、決議文はウェブ上に公表され、日本の関連自治体に送付もされております(2012年5月)。

日暮里富士見坂から望む富士山の眺望が、歴史的な「風景遺産」として重要であることは、これまで新聞をはじめとする各メディアに取り上げられてまいりました。

わたくしども日暮里富士見坂を守る会では、独自にこうした状況の広報に努め、建築主である 様へも、この12年の間に何回もおうかがいし、富士見坂の価値や活動経緯などを書いた資料をお渡しし、ご説明させていただきました。

つきましては、わたくしどもの趣旨をご理解いただき、日暮里富士見坂からの眺望が保全される計画への変更、ならびに保全が可能になる計画の検討、検討資料としての詳細図面のご提供をお願いいたします。

まず、話し合いの時間をいただけますように、重ねてお願い申し上げます。

敬具

日暮里富士見坂を守る会 <http://fujimizaka.yanesen.org/>

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3-2-5(金子方)

E-mail: [fujimizaka@yanesen.com](mailto:fujimizaka@yanesen.com)

TEL/FAX 03-3822-3649(中島) 080-6670-0142(山崎)